



テクニカル・メッセージ

大型観光バス用スプリングブレーキ取扱いの留意点について

長年使用されているバスで、スプリングブレーキの目的と操作方法をご理解されないまま運行される場合があります。スプリングブレーキを解除しないまま走行し、ブレーキの引きずりによる過熱から、最悪の場合、火災に繋がった事例があります。

そのため、スプリングブレーキ取扱いの留意点について、ご説明いたします。

注）スプリングブレーキはレバー式パーキングブレーキとは別の装置であり、パーキングブレーキの補助として使用するものです。

＜スプリングブレーキ解除忘れによる火災事例＞

スプリングブレーキの解除をしないまま走行



ブレーキの引きずり



過熱（火災の原因）



1. 対象車両

日野大型観光バス K・P-RU（ブルーリボン）／P-RY（グランビュー）／U・KC-RU（セレガ）
スプリングブレーキ（オプション設定）装着車（1983～2000年式）

2. スプリングブレーキの目的

- ①パーキングブレーキの補助として使用
- ②非常時に他のブレーキと併用して使用

3. 運行時の注意事項

走行前、必ずスプリングブレーキが『解除』されていることをご確認ください。



コントロールバルブ （ノブ部）	ON （作動） 押す		引く OFF （解除）
インジケータランプ	SPG・B 点灯	消灯	
警報ブザー	吹鳴 （パーキングブレーキOFF時）	非吹鳴	

必ず、ノブを引いて、解除してから走行ください。

注）スプリングブレーキランプは、パーキングブレーキランプ（下図）と異なります。

インジケータランプ及び警報ブザーが上表のとおり作動しない場合は、配線系統の断線等が考えられるため、日野整備工場にて点検を受けてください。



4. スプリングブレーキ点検内容

車両を安全な場所に駐車させ、スタータスイッチを「ON」にし、パーキングブレーキを作動した状態から、以下のような日常点検をお願いいたします。

- 1)コントロールバルブを作動側(スプリングブレーキを「ON」)に操作したとき、**SPG・B** のインジケータランプが点灯し、コントロールバルブからのエアの排出音が聞こえることを点検します。
- 2)ブレーキペダルを確実に踏み、パーキングブレーキを解除し、ブザーが吹鳴することを点検します。
- 3)再度パーキングブレーキを作動し、コントロールバルブを解除側(スプリングブレーキを「OFF」)に操作したとき、**SPG・B** のインジケータランプが消灯することを点検します。

スプリングブレーキ システム系統図

